

原 紙

試 験 成 績 書

試 料 名 : コンクリート再生骨材80～0mm

総合建設コンサルタント

CS ワンストップ
コンサル!! 株式 会社 **イーエス総合研究所**
Environment Survey

土壌汚染調査 アスベスト含有分析 騒音・振動・家屋調査
水質・土壌分析 土木設計 地質調査 施工管理

Since
1974

本 社／〒007-0894 札幌市東区中沼西4条1丁目4-13 ☎(011) 791-1941
函 館 支 店／〒041-1213 北斗市開発209-21 ☎(0138) 77-7131
帯 広 支 店／〒080-0111 河東郡音更町木野大通東14丁目3-21 ☎(0155) 31-8933
北 見 支 店／〒099-2104 北見市端野町端野2-11 ☎(0157) 56-3576
道 北 支 店／〒074-1273 深川市音江町2丁目12-16 ☎(0164) 26-3222
釧 路 支 店／〒088-0606 釧路郡釧路町中央3丁目16 ☎(0154) 40-5522
苫小牧支店／〒059-1306 苫小牧市ウトナイ北11丁目1-7 ☎(0144) 52-5501
後 志 支 店／〒044-0004 虻田郡倶知安町北4条東10丁目8-3 ☎(0136) 55-8112

骨材試験成績書

今般ご依頼いただきました骨材試験結果を
別紙の通りご報告致します。

依頼者 株式会社 三浦興産

試料名 コンクリート再生骨材 80～0 mm

用途 路盤用

産地 産業廃棄物中間処理施設

試験年月日 自 2026 年 5 月 14 日
至 2026 年 6 月 8 日

総合建設コンサルタント

株式会社 **イーエス総合研究所**
苫小牧支店

〒059-1306 苫小牧市ウトナイ北11丁目1-7

電話 0144-52-5501

FAX 0144-52-5505

総括責任者 川村 晃輝



試験責任者 下河原 心平



目 次

●コンクリート再生骨材の品質規格

北海道開発局（道路・河川工事、農業土木工事、漁港・港湾工事）、
北海道建設部、北海道農政部、北海道水産林務部、札幌市

●試 験 内 容

ページ

試験結果一覧表	1
ふるい分け試験	2
洗 い 試 験	3
単位容積質量試験	4
粗骨材の密度および吸水率試験	5
ロサンゼルス試験機によるスリヘリ試験	6
安 定 性 試 験	7
路盤材の突固め試験（舗装調査・試験法便覧）	8
修正 C B R 試験（突固め回数 9 2 回）	9
（突固め回数 4 2 回）	10
（突固め回数 1 7 回）	11
乾燥密度・含水比・C B R 曲線関係図	12
路盤材の破碎粒率試験	13（上段）
路盤材の塑性指数試験	13（下段）
土の凍上試験結果	14
土の凍上試験	15
土の凍上試験写真	16

コンクリート再生骨材による凍上抑制層粗粒材料の品質規格

◎北海道開発局（道路・河川工事、農業土木工事、漁港・港湾工事）、
北海道建設部、北海道農政部、北海道水産林務部、札幌市

規 格 項 目	粗 粒 材 料	
最 大 粒 径	80 mm級以下	
75 μ m ふるい通過量	4.75 mm以下について 15%以下	
凍 上 試 験	道路土工要綱による場合	20%未満

コンクリート再生骨材による凍上抑制層用粗粒材料の粒度

呼び名 ふるい目	ふるい通過質量百分率 (%)			
	90 mm	53 mm	37.5 mm	4.75 mm
80 mm	100	70～100	—	20～65
40 mm	—	100	70～100	20～65

材 料 名	産 地	納 入 会 社
コンクリート再生骨材 80～0mm	産業廃棄物 中間処理施設	株式会社 三浦興産

凍上抑制層 材料試験成績一覧表

整理年月日 2026年 6月 8日

試験者 久保亨輔



凍上抑制材料
(火山灰)

75 μ m 通過量	- (%)
強熱減量	- (%)
凍結率	11.2 (%)
凍結様式	コンクリート状凍結

75 μ m 通過量	10.7 (%)
----------------	---------------------

75 μ m 通過量	10.7 (%)
----------------	----------

下層路盤材料
(切込砂利・切込碎石)

修正 C B R	87.4 (%)
すりへり量	33.1 (%)
安定量	24.1 (%)
75 μ m 通過量	- (%)

ふるい目		ふるい通過重量百分率(%)	
呼び名		53mm	37.5mm 13.2mm 2.36mm 600 μ m

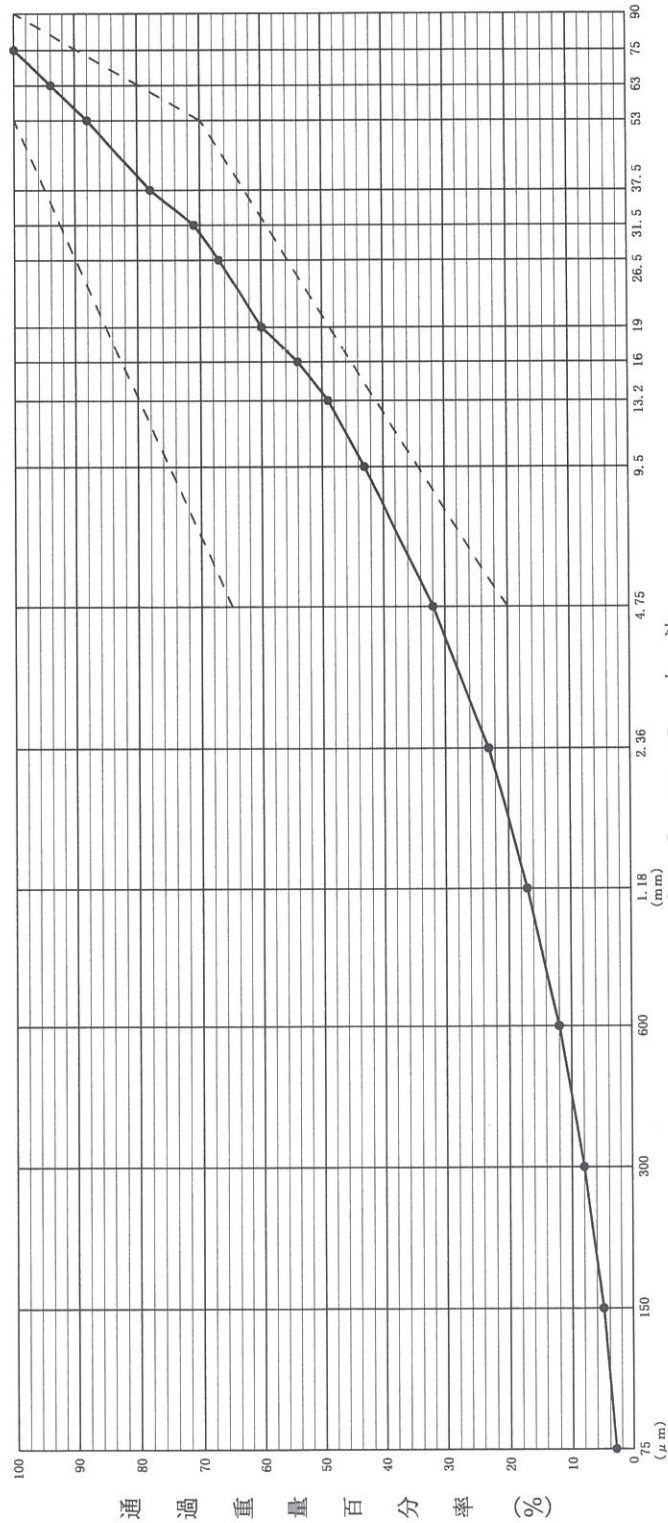
加熱アスファルト安定処理材料
(切込砂利・切込碎石)

細長い或いは扁平な骨材含有量	(%)
すりへり量	(%)
安定量	(%)
75 μ m 通過量	(%)

ふるい目		ふるい通過重量百分率(%)					
呼び名		37.5mm	31.5mm	26.5mm	13.2mm	2.36mm	75 μ m

呼び名	ふるい目			
	ふるい通過重量百分率(%)			
コンクリート再生骨材80-0	90mm	53mm	37.5mm	4.75mm
	100	88	78	32

75 μ m 通過量 = 4.75mm 以下の質量に対する 75 μ m 以下の質量の割合



記事

試験項目	値
粗粒率 (FM)	6.22
表乾密度 (g/cm^3)	2.42
絶対乾密度 (g/cm^3)	2.27
吸水率 (%)	6.86
単位質量 (kg/L)	1.64
最大乾燥密度 (Mg/m^3)	1.956
95 % ρ_{dmax} (Mg/m^3)	1.858
最適含水比 (%)	10.7
破碎粒率 (%)	-
塑性指数	NP

試験機関 株式会社 三浦興産
(株) イーエス総合研究所
苫小牧市ウトナイ北1丁目1番7号
電話 52561011
FAX 52561055

舗装調査・試験法便覧		骨 材 の ふ る い 分 け 試 験				
依頼者		株式会社 三浦興産		試験年月日 2026年 5月 15日		
試料名		コンクリート再生骨材80～0mm		試 験 者 久 保 亨 輔		
全 体 試 料 質 量		21521 g				
4.75mm未満試料質量		572.7 g				
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる 質 量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 (%)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 補正 (%)	各ふるいにとどまる 質 量 分 率 (%)	各ふるいを通して 質 量 分 率 (%)
106						
75	0	0	0		0	100
63	1342	1342	6		6	94
53	2637	1295	6		12	88
37.5	4802	2165	10		22	78
31.5	6261	1459	7		29	71
26.5	7083	822	4		33	67
19.0	8652	1569	7		40	60
16.0	9837	1185	6		46	54
13.2	10963	1126	5		51	49
9.5	12332	1369	6		57	43
4.75	14749	2417	11		68	32
2.36	163.2	163.2	28	9	77	23
1.18	277.5	114.3	20	6	83	17
0.6	370.7	93.2	16	5	88	12
0.3	443.6	72.9	13	4	92	8
0.15	488.7	45.1	8	3	95	5
0.075	527.4	38.7	7	2	97	3
以下	572.7	45.3	8	3	100	0
粗 粒 率 (F ・ M)				6.22		

＜粒度加積曲線図＞

通過率 (%)

ふるい目の開き (mm)

備考	
----	--

北海道開発局 開発土木研究所制定		骨 材 の 洗 い 試 験		報 告 用 紙	
		試 験 日 2026年 5月 18日			
試 料 名 コンクリート再生骨材80～0mm		試 験 者 久 保 亨 輔			
測 定 番 号		1	2	3	
① 洗う前の乾燥質量 (g)		5539.1	5734.7		
② 洗った後の4.75mmに残ったものの乾燥質量 (g)		3785.5	3919.6		
③ 洗った後4.75mmを通過し0.075mmに残ったものの乾燥質量 (g)		1566.1	1620.9		
④ 0.075mmを通過した乾燥質量 ①-(②+③) (g)		187.5	194.2		
⑤ 全体に対する0.075mm通過量百分率 $\frac{④}{①} \times 100$ (%)		3.4	3.4		
平 均 値 (%)		3.4			
⑥ 4.75mmの通過量に対する0.075mm通過量の百分率 $\frac{④}{①-②} \times 100$ (%)		10.7	10.7		
平 均 値 (%)		10.7			

試 料 名		試 験 日			
		試 験 者			
測 定 番 号		1	2	3	
① 洗う前の乾燥質量 (g)					
② 洗った後の4.75mmに残ったものの乾燥質量 (g)					
③ 洗った後4.75mmを通過し0.075mmに残ったものの乾燥質量 (g)					
④ 0.075mmを通過した乾燥質量 ①-(②+③) (g)					
⑤ 全体に対する0.075mm通過量百分率 $\frac{④}{①} \times 100$ (%)					
平 均 値 (%)					
⑥ 4.75mmの通過量に対する0.075mm通過量の百分率 $\frac{④}{①-②} \times 100$ (%)					
平 均 値 (%)					

JIS A 1104	骨材の単位容積質量及び実積率試験
依頼者	株式会社 三浦興産
材料名	コンクリート再生骨材80～0mm
試験者	久保亨輔
試験年月日	2026年 5月 20日
骨材の絶乾密度①	2.27
骨材の吸水率(%)②	6.86

試験室の状態	室 温 (℃)	湿 度 (%)	水 温 (℃)	乾 燥 温 度 (℃)	
	24	40	—	105	
試料の状態	絶乾状態	ジグギング法		含 水 率 測 定 ^{注(1)}	無
記 事					
測 定 番 号		1		2	
③ 容 器 の 容 積 (L)		30		30	
④ 容 器 の 質 量 (kg)		9.170		9.170	
⑤ (試 料 + 容 器) の 質 量 (kg)		58.190		58.220	
⑥ 試 料 質 量 ⑤ - ④ (kg)		49.020		49.050	
⑦ 含水率測定のための乾燥前の試料の質量 (g)		—		—	
⑧ ⑦ の 乾 燥 後 の 試 料 の 質 量 (g)		—		—	
⑨ 単位容積質量 $\frac{⑥}{③}$ または $\frac{⑥}{③} \times \frac{⑧}{⑦}$ (kg/L)		1.63		1.64	
⑩ 平 均 値 (kg/L)		1.64			
⑪ 平 均 値 か ら の 差 ^{注(2)} (kg/L)		0.01			
⑫ 実 積 率 $⑨ \times \frac{100}{①}$ (%)		71.8		72.2	
⑬ 平 均 値 (%)		72.0			
⑭ 平 均 値 か ら の 差		0.20			

注(1) 絶乾状態の試料を用いる場合又は試料の含水率が1.0%以下の見込みの場合は、含水率の測定は省略してよい。

(2) 試験は2回行い、その精度は、平均値からの差が0.01kg/L以下でなければならない。

備考:

JIS A 1110	粗骨材の密度及び吸水率試験	
------------	---------------	--

依 頼 者 株式会社 三浦興産

材 料 名 コンクリート再生骨材80～0mm

試 験 者 久 保 亨 輔

試 験 年 月 日 2026年 5月 19日

試験室の状態	室 温 (℃)	乾 燥 温 度 (℃)	検定水の温度 (℃)	水の密度 ρ_w (g/cm ³)
	25	105	19	0.9984

記 事	
-----	--

測 定 番 号	1	2
① 空 気 中 の 試 料 の 質 量 (g)	2752.3	2649.0
② か ご と 試 料 の 水 中 質 量 (g)	2044.2	1981.7
③ か ご の 水 中 質 量 (g)	425.9	425.9
④ 試 料 の 水 中 質 量 (g)	1618.3	1555.8
⑤ 表 乾 密 度 = $\frac{① \times \rho_w}{① - ② + ③}$ (g/cm ³)	2.42	2.42
⑥ 平 均 値 (g/cm ³)	2.42	
⑦ 平 均 値 か ら の 差 (g/cm ³)	0.00	
⑧ 乾 燥 後 の 試 料 の 質 量 (g)	2575.9	2479.0
⑨ 吸 水 率 = $\frac{① - ⑧}{⑧} \times 100$ (%)	6.85	6.86
⑩ 平 均 値 (%)	6.86	
⑪ 平 均 値 か ら の 差 (%)	0.01	

注(1) 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が、密度の場合は0.01g/cm³以下、吸水率の場合は0.03%以下でなければならない。

備 考：

絶 乾 密 度 = $\frac{⑧ \times \rho_w}{① - ② + ③}$ (g/cm ³)	2.27	2.26
平 均 値 (g/cm ³)	2.27	
平 均 値 か ら の 差 (g/cm ³)	0.01	

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験		
依 頼 者	株式会社 三浦興産		
材 料 名	コンクリート再生骨材80～0mm		
試 験 者	久 保 亨 輔		
試 験 年 月 日	2026年 5月 22日		
粒 度 区 分	無区分		
玉 の 数 (個)	8	回 転 速 度 (回 / 分)	32
鋼 球 質 量	3310	回 転 数 (回)	500

試験日の状態	室 温 (℃)	湿 度 (%)	水 温 (℃)	乾 燥 温 度 (℃)
	22	51	－	105
記 事				

ふるい分け試験			試験前の試料の質量(g)
とどまるふるい(mm)	通るふるい(mm)	各群の質量分率(%)	
－	2.5	23	－
2.5	5	9	－
5	13	17	5002
13	15	5	－
15	20	6	－
20	25	7	－
25	40	11	－
40	50	10	－
50	60	6	－
60	80	6	－
合 計		100	① 5002
② 試験後, 1.7mmふるいにとどまった試料の乾燥質量 (g)			3346
③ すり へ り 損 失 質 量 ① － ② (g)			1656
④ すり へ り 減 量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)			33.1

備 考 :

JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
依頼者	株式会社 三浦興産
材料名	コンクリート再生骨材80～0mm
試験者	久保亨輔
試験年月日	2026年 6月 2日

試験日の状態	室 温 (℃)	湿 度 (%)	水 温 (℃)	乾 燥 温 度 (℃)
	24	47	20	105

記 事	
-----	--

通るふりい (mm)	とどまるふ るい (mm)	①各群の質 量分率 (%)	②試験前の 各群の質量 (g)	③試験後の 各群の質量 (g)	④各群の損失質量分率 $(1 - \frac{③}{②}) \times 100$ (%)	骨材の損失 質量分率 $\frac{① \times ④}{100}$ (%)
---------------	---------------------	---------------------	-----------------------	-----------------------	--	---

細 骨 材 の 安 定 性 試 験						
0.3	—	9	—	—	—	—
0.6	0.3	5	100.0	82.9	17.1	0.9
1.2	0.6	7	100.0	78.4	21.6	1.5
2.5	1.2	8	100.0	82.1	17.9	1.4
5.0	2.5	12	100.0	79.7	20.3	2.4
合 計		—				—

粗 骨 材 の 安 定 性 試 験						
10.0	5.0	14	301.8	220.5	26.9	3.8
15.0	10.0	15	503.9	335.4	33.4	5.0
20.0	15.0	7	758.2	447.4	41.0	2.9
25.0	20.0	9	1006.8	728.0	27.7	2.5
40.0	25.0	14	1502.4	1104.2	26.5	3.7
合 計		100				24.1

岩 石 の 安 定 性 試 験						
①試験前の試料の質量 (g)			—	3片以上にくだけた粒の数		—
②試験後3片以上くだけた粒の質量 (g)			—	破壊	—	
③損失質量分率 $(1 - \frac{②}{①}) \times 100$ (%)			—	状況		

注(1) 全質量の5%に満たない群のものについては、実際に試験を行った最も近い群の損失質量分率を採用する。
ただし、最も近い群が二つある場合は、二つの平均値とする。

JIS A 1210	突固めによる土の締固め試験（測定）	
------------	-------------------	--

調査件名 株式会社 三浦興産

試験年月日 2026年 5月 21日

試料番号（深さ）コンクリート再生骨材80～0mm

試験者 久保 亨 輔

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法， 一湿潤法	ランマー質量 kg	4.5	モールド	内径 mm	150
試料の使用法		繰返し法 ，非繰返し法	落下高さ mm	450		高さ ¹⁾ mm	125
含水比	試料分取後 w_0 %		突固め回数 回/層	92		容量 V mm ³	2209×10^3
	乾燥処理後 w_1 %		突固め層数 層	3		質量 m_1 ²⁾ g	4552
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g		9001	9151	9270	9360		
湿潤密度 ρ_t Mg/m ³		2.014	2.082	2.136	2.177		
平均含水比 w %		6.8	8.6	9.7	11.9		
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³		1.886	1.917	1.947	1.945		
含水比	容器 No.	1549	1581	1691	1648		
	m_a g	4666	4447	4676	4612		
	m_b g	4404	4138	4314	4177		
	m_c g	555	551	586	523		
	w %	6.8	8.6	9.7	11.9		
	容器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	w %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 m_2 ²⁾ g		9357	9358				
湿潤密度 ρ_t Mg/m ³		2.175	2.176				
平均含水比 w %		13.3	15.2				
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³		1.920	1.889				
含水比	容器 No.	1697	1622				
	m_a g	4905	4961				
	m_b g	4390	4377				
	m_c g	518	525				
	w %	13.3	15.2				
	容器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	w %						

特記事項

- 1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w/100}$$

調査件名 株式会社 三浦興産

試験年月日 2026年 5月 29日

試料番号 (深さ) コンクリート再生骨材80~0mm

試験者 久保 亨 輔

試験方法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 w_n %	
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	10.7
養生条件	日空气中	モールド	内径	mm	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	1.956
	4日水浸		高さ ¹⁾	mm		

供試体 No.			92-1	92-2	92-3
吸水膨張試験	前	含水比 w_i %	10.8	10.8	10.7
		乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.952	1.954	1.952
	後	膨張比 r_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 w' %	11.8	11.9	11.9
		乾燥密度 ρ'_d Mg/m ³	1.952	1.954	1.952
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %		11.3	11.2	11.2
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		119.5	125.4	116.2
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		171.3	158.5	168.3
	C B R %		171.3	158.5	168.3

平均 C B R %

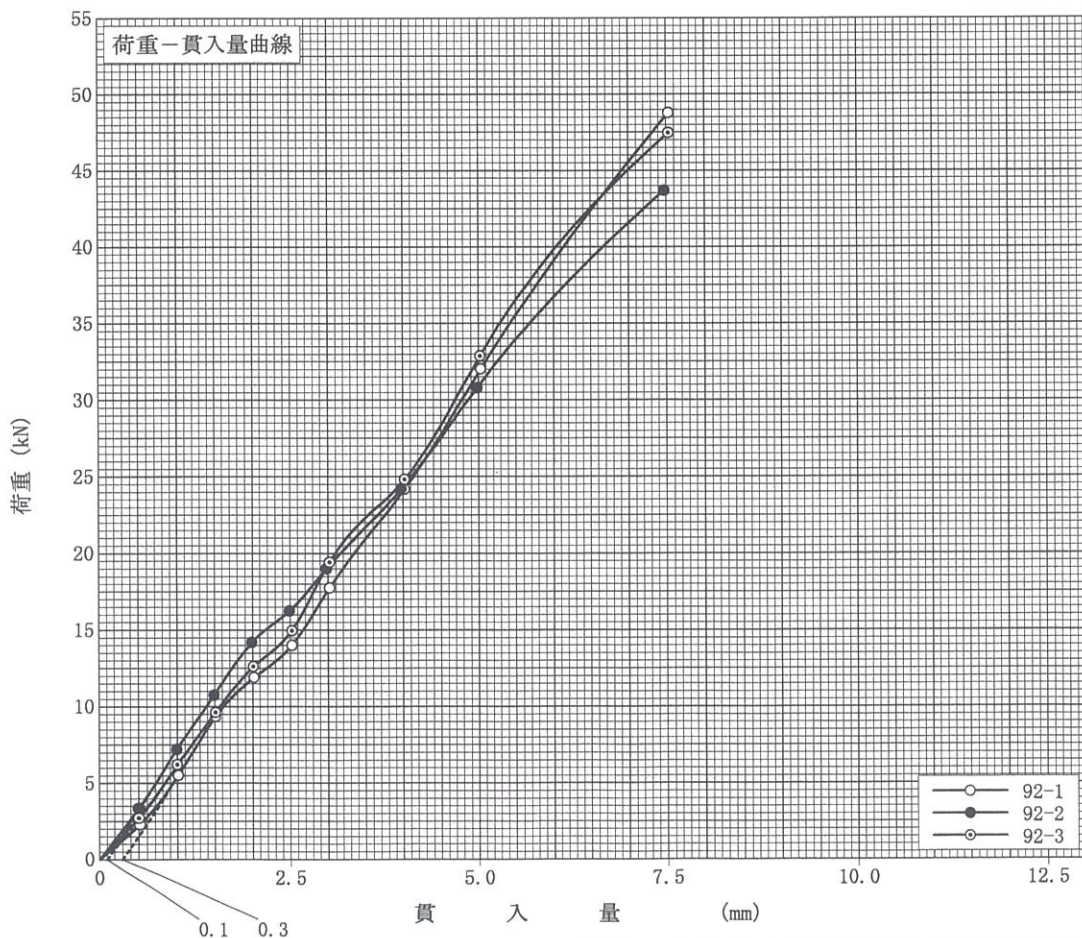
166.0

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]

[1kN ≒ 102kgf]



貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.92-1	16.01	34.09
供試体 No.92-2	16.80	31.54
供試体 No.92-3	15.57	33.50
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名

株式会社 三浦興産

試験年月日

2026年 5月 29日

試料番号（深さ）

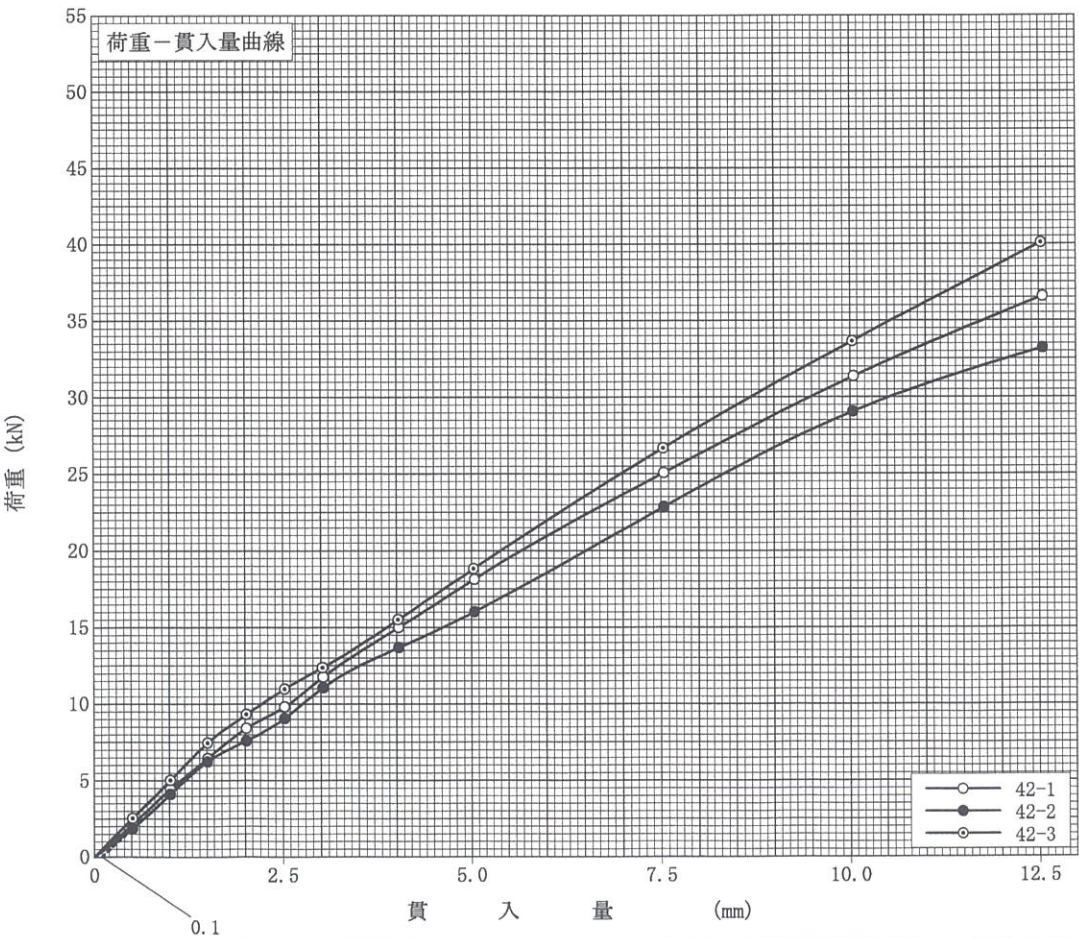
コンクリート再生骨材80〜0mm

試 験 者

久 保 亨 輔

試 験 方 法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土 質 名 称	
突 固 め 方 法	E	落 下 高 さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突 固 め 回 数	回/層	42	自然含水比 w_n %	
試 験 条 件	水 浸、非水浸	突 固 め 層 数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	10.7
養 生 条 件	日空气中	モールド	内 径	mm	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	1.956
	4 日水浸		高 さ ¹⁾	mm		
				125		

供 試 体 No.			42-1	42-2	42-3
吸 水 膨 張 試 験	前	含 水 比 w_1 %	10.9	10.7	10.7
		乾 燥 密 度 ρ_d Mg/m ³	1.860	1.868	1.864
	後	膨 張 比 r_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 w' %	12.7	12.6	12.6
		乾 燥 密 度 ρ'_d Mg/m ³	1.860	1.868	1.864
貫 入 試 験	試験後の含水比 w_2 %		11.8	12.1	12.0
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		75.2	69.9	81.4
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		92.1	81.3	94.1
	C B R %		92.1	81.3	94.1



平 均 C B R %
89.2

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m²≒10.2kgf/cm²]
[1kN≒102kgf]

貫入量 mm		2.5	5.0
荷 重	供試体 No.42-1	10.08	18.32
	供試体 No.42-2	9.36	16.17
	供試体 No.42-3	10.91	18.72
標準荷重強さ MN/m ²		6.9	10.3
標準 荷 重 kN		13.4	19.9

調査件名

株式会社 三浦興産

試験年月日

2026年 5月 29日

試料番号 (深さ)

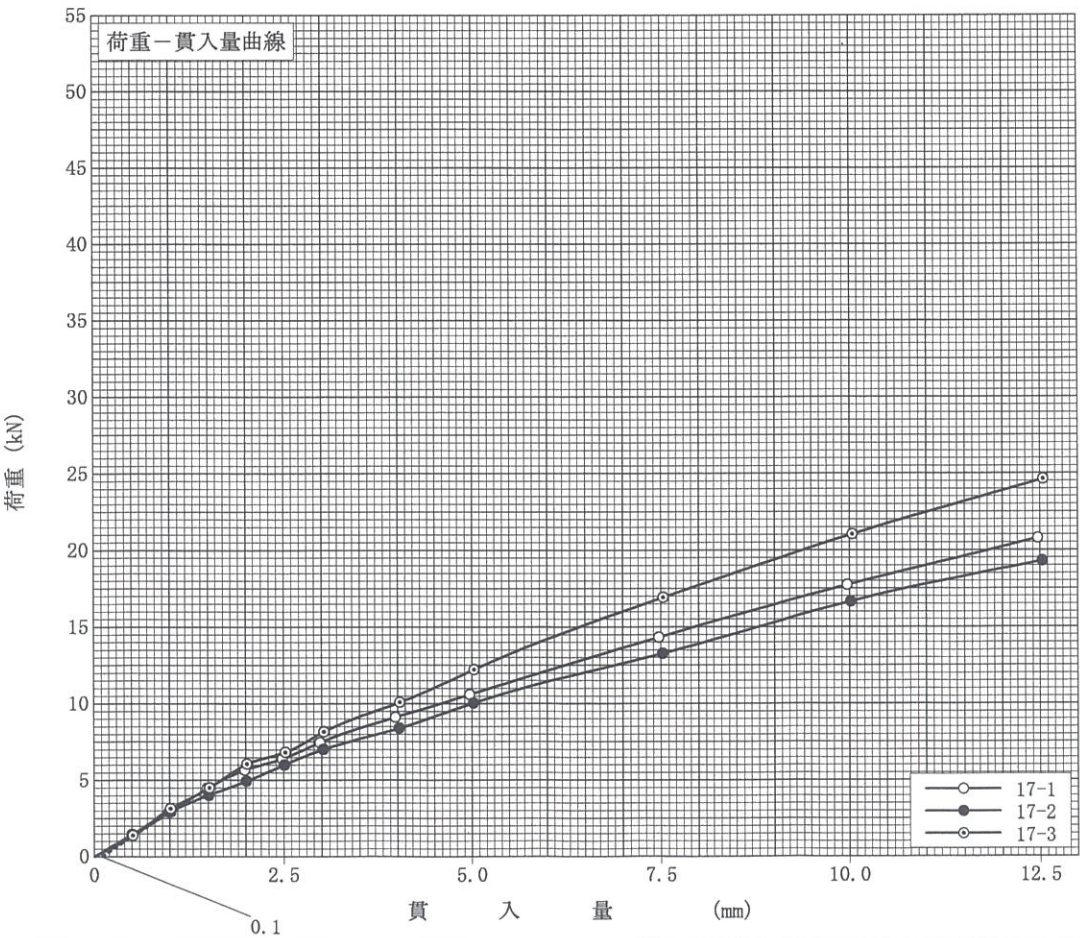
コンクリート再生骨材80~0mm

試 験 者

久 保 亨 輔

試 験 方 法	締固めた土, 乱さない土	ランマー質量	kg	4.5	土 質 名 称	
突 固 め 方 法	E	落 下 高 さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法 , 空気乾燥法	突 固 め 回 数	回/層	17	自然含水比 w_n %	
試 験 条 件	水 浸, 非水浸	突 固 め 層 数	層	3	最適含水比 w_{opt} %	10.7
養 生 条 件	日空气中	モールド	内 径	mm	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	1.956
	4 日水浸		高 さ ¹⁾	mm		
				125		

供 試 体 No.			17-1	17-2	17-3
吸 水 膨 張 試 験	前	含 水 比 w_1 %	10.8	10.8	10.7
		乾 燥 密 度 ρ_d Mg/m ³	1.751	1.759	1.758
	後	膨 張 比 r_s %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 w' %	14.2	13.9	13.9
		乾 燥 密 度 ρ'_d Mg/m ³	1.751	1.759	1.758
貫 入 試 験	試験後の含水比 w_2 %		13.0	13.0	13.1
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		49.5	46.3	52.2
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		54.2	51.1	62.2
	C B R %		54.2	51.1	62.2



平 均 C B R %
55.8

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m²≒10.2kgf/cm²]
[1kN≒102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 重		
供試体 No.17-1	6.63	10.79
供試体 No.17-2	6.20	10.16
供試体 No.17-3	7.00	12.38
標準荷重強さ MN/m ²	6.9	10.3
標準 荷 重 kN	13.4	19.9

修正 C B R 試 験

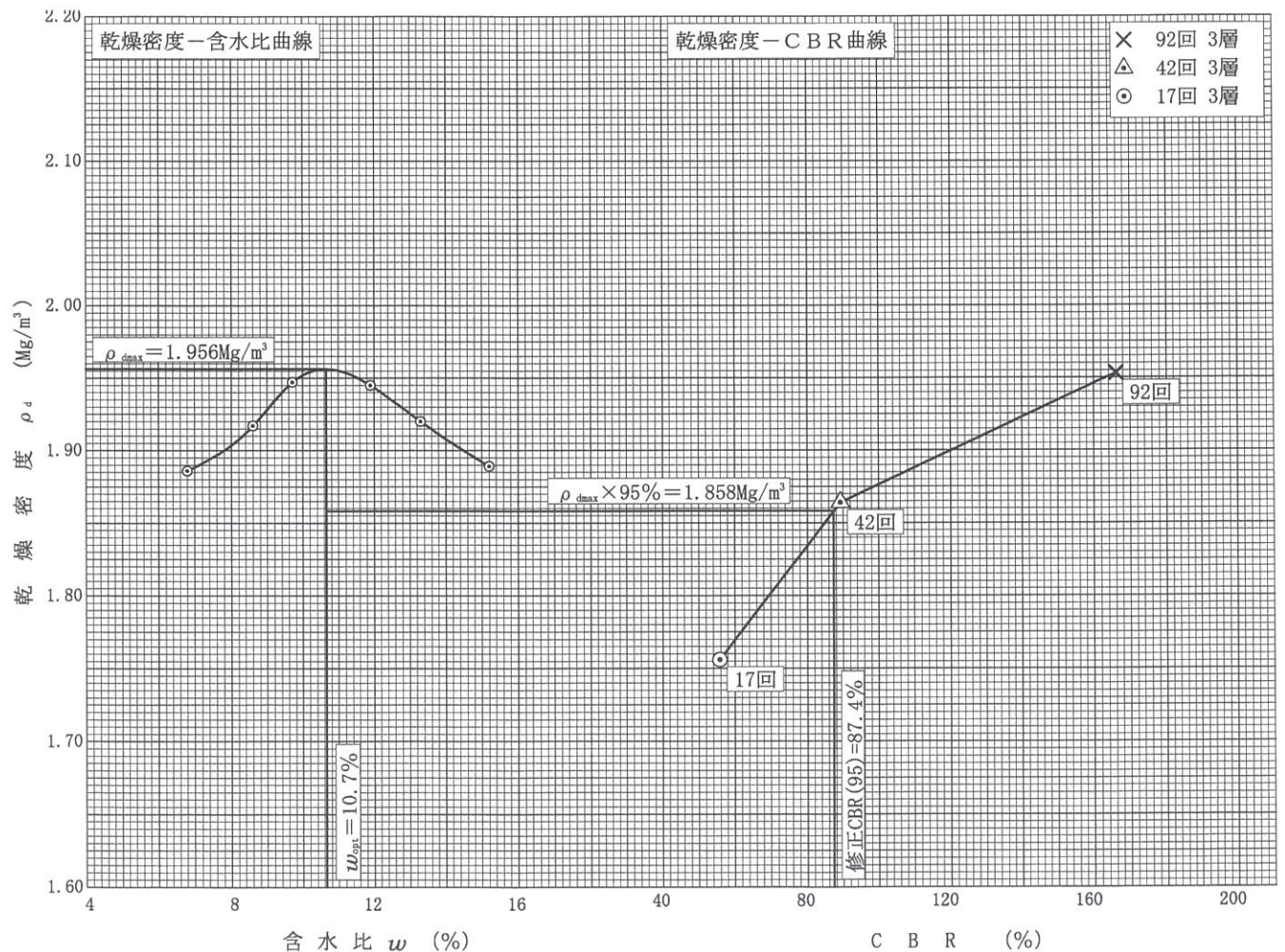
調査件名 株式会社 三浦興産

試験年月日 2026年 5月 29日

試料番号 (深さ) コンクリート再生骨材80~0mm

試 験 者 久 保 亨 輔

突 固 め 回 数	回/層	92 (3 層)			42 (3 層)			17 (3 層)		
供 試 体 No.		92-1	92-2	92-3	42-1	42-2	42-3	17-1	17-2	17-3
乾 燥 密 度 ρ_d Mg/m ³		1.952	1.954	1.952	1.860	1.868	1.864	1.751	1.759	1.758
平 均 値 ρ_d Mg/m ³		1.953			1.864			1.756		
貫入量2.5mmにおけるCBR %		119.5	125.4	116.2	75.2	69.9	81.4	49.5	46.3	52.2
平 均 値 %		120.4			75.5			49.3		
貫入量5.0mmにおけるCBR %		171.3	158.5	168.3	92.1	81.3	94.1	54.2	51.1	62.2
平 均 値 %		166.0			89.2			55.8		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³			締 固 め 度 %			95		
		最適含水比 w_{opt} %			修 正 C B R %			87.4		



特記事項

	路 盤 材 の 破 碎 粒 率 試 験	試験報告用紙																				
試料名 _____	試験月日 _____																					
	試験者 _____																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">測 定 番 号</th> <th style="width: 15%;">1</th> <th style="width: 15%;">2</th> <th style="width: 25%;">3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 5mmふるいにとどまる試料質量 (g)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 破 碎 粒 質 量 (g)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 破 碎 粒 質 量 $\frac{②}{①} \times 100$ (%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 平 均 値 (%)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>			測 定 番 号	1	2	3	① 5mmふるいにとどまる試料質量 (g)				② 破 碎 粒 質 量 (g)				③ 破 碎 粒 質 量 $\frac{②}{①} \times 100$ (%)				④ 平 均 値 (%)			
測 定 番 号	1	2	3																			
① 5mmふるいにとどまる試料質量 (g)																						
② 破 碎 粒 質 量 (g)																						
③ 破 碎 粒 質 量 $\frac{②}{①} \times 100$ (%)																						
④ 平 均 値 (%)																						

J I S A 1 2 0 5	路 盤 材 の 塑 性 指 数 試 験	試験報告用紙																																																		
試料名 <u>コンクリート再生骨材80～0mm</u>	試験月日 <u>2026年 5月 26日</u>																																																			
	試験者 <u>久 保 亨 輔</u>																																																			
<table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">液 性 限 界 試 験</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">塑性限界試験</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">No.</th> <th style="width: 20%;">落下回数</th> <th style="width: 15%;">含水比 %</th> <th style="width: 10%;">No.</th> <th style="width: 15%;">含水比 %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td>3</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">液性限界 W_L %</td> <td style="text-align: center;">塑性限界 W_P %</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">塑性指数 I_P</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">N P</td> <td style="text-align: center;">N P</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> 流動曲線			液 性 限 界 試 験			塑性限界試験		No.	落下回数	含水比 %	No.	含水比 %	1			1		2			2		3			3		4					5					6					液性限界 W _L %		塑性限界 W _P %	塑性指数 I _P		N P		N P	—	
液 性 限 界 試 験			塑性限界試験																																																	
No.	落下回数	含水比 %	No.	含水比 %																																																
1			1																																																	
2			2																																																	
3			3																																																	
4																																																				
5																																																				
6																																																				
液性限界 W _L %		塑性限界 W _P %	塑性指数 I _P																																																	
N P		N P	—																																																	

土の凍上試験結果

試料名： コンクリート再生骨材80～0mm

試験者： 久保 亨 輔

A	凍上率平均 (%)	11.2
B	凍結様式 (表-1 より)	1 : コンクリート状凍結
C	判定 (表-2 より)	合 格

表-1 凍 結 様 式

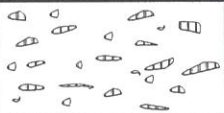
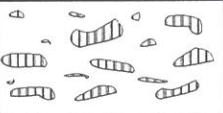
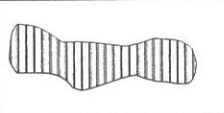
番号	1	2	3	4	5
様式	コンクリート状凍結	微細霜降状を含むコンクリート状凍結	微細霜降状凍結	霜降状凍結	霜柱状凍結
形状					
説明	氷晶がまったく認められない	一部に氷晶が細かく入っている	氷晶が非常に細かく切れぎれに入っている	1～2mm厚程度の氷晶が入っている	純霜柱の発達したもの

表-2 判 定

番号	凍 結 様 式	凍 上 率	判 定
1	コンクリート状凍結 (氷粒散在を含む)	20%未満	合 格
		20%以上	要注意
2	部分的な極微細霜降状凍結を含むコンクリート状凍結	20%未満	要注意
		20%以上	不合格
3	微細霜降, 霜柱氷層等明らかに氷晶分離の傾向のある凍結	凍上率の大きさに関係なく	不合格
4			
5			

注： 要注意のものは、わずかの凍上も許せない場合には使用してはならない。構造物の性質によって多少の凍上を許すことのできるものは、土質試験結果・地中水の状態等を考慮し、技術者が判断して合否を決定する。

土の凍上試験

試験月日： 2026 年 6 月 5 日

試料名： コンクリート再生骨材80～0mm

試験者： 久保亨輔

○供試体作成

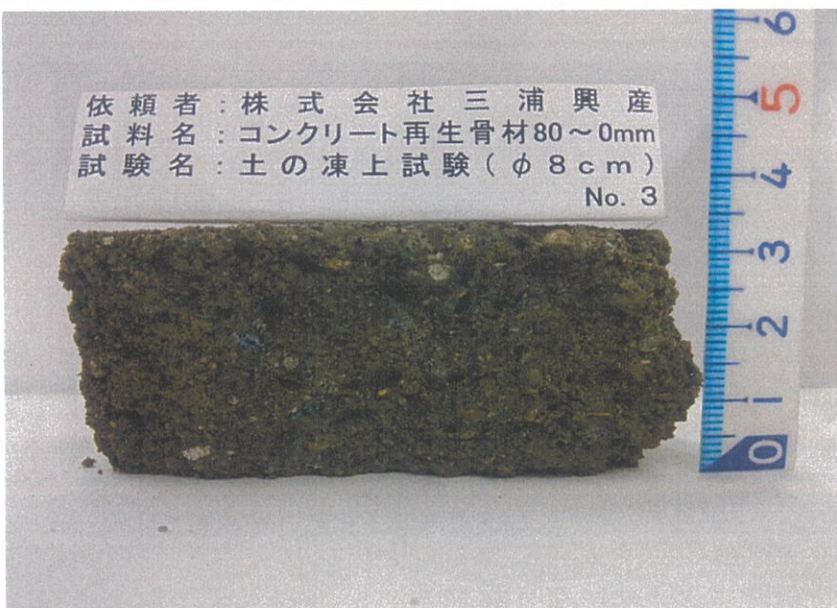
モールド No.	1	2	3
締固め試験(JIS A 1210)による 最大乾燥密度および最適含水比	ρ_{dmax} <u>1.643</u> g/cm^3 W_{opt} <u>15.6</u> %		
供試体作成時含水比 (%)	15.6	15.6	15.6
試料 + モールド (g)	329.5	330.6	330.1
湿潤密度 $\rho_t (g/cm^3)$	1.870	1.867	1.868
モールド質量 (g)	47.5	49.1	48.4
モールド内径 R (cm)	8.0	8.0	8.0
モールド高さ H (cm)	3.0	3.0	3.0
モールド体積 (cm ³)	150.8	150.8	150.8
乾燥密度 $\rho_d (g/cm^3)$	1.618	1.615	1.616

○凍上試験

測定時間(H)		24	48	72	96	最終凍上率 (%)
No.1	凍上量 (mm)	2.74	3.09	3.22	3.34	11.1
No.2	凍上量 (mm)	2.80	3.14	3.31	3.41	11.4
No.3	凍上量 (mm)	2.76	3.01	3.19	3.31	11.0
平均					3.35	11.2

$$\text{※凍上率 (\%)} = \frac{\text{供試体の凍結後の高さ} - \text{供試体の初めの高さ}}{\text{供試体の初めの高さ}} \times 100$$

土の凍上試験 φ 8 （凍上状況）

	供試体No.	1
	凍上率 (%)	11.1
	凍結様式	1:コンクリート状凍結
	判定	合格
	備考	
	供試体No.	2
	凍上率 (%)	11.4
	凍結様式	1:コンクリート状凍結
	判定	合格
	備考	
	供試体No.	3
	凍上率 (%)	11.0
	凍結様式	1:コンクリート状凍結
	判定	合格
	備考	

